

## 5月24日 多賀町民ソフトボール大会／優勝はジャガーズ！

多賀町民グラウンドにて多賀町民ソフトボール大会が開催されました。今年度は4チームがエントリー。決勝戦は1点をめぐる白熱した展開となり、最後はジャガーズ主将の力投でゲームセット。参加選手の笑顔も多く見られ、真剣さと楽しさが相まった充実した大会となりました。



▲優勝したジャガーズの皆さん



▲大会のようす

(第1試合)  
ベストーネ(2-14)ジャガーズ  
(第2試合)  
夏原工業(4-3)ワイルドキャッツ  
(決勝戦)  
ジャガーズ(4-3)夏原工業

優勝：ジャガーズ



## 5月31日 「ごみゼロ清掃活動」が実施されました

5月31日をごみゼロ清掃活動の日と位置づけ、その日を中心に22集落・15事業所、総勢1087人の皆さんに町内一斉清掃活動を実施していただき、合計628kgのごみを回収することができました。ご参加いただいた皆さん、ありがとうございました。例年どおり多くの方々に町内美化運

動へのご理解とご協力を賜っているものの、依然としてごみのポイ捨てや不法投棄が後を絶ちません。地域の環境美化とごみの散乱防止のため、引き続き美化活動の積極的な取り組みをよろしくお願いします。

町では、空き缶やペットボトルなどのポイ捨てごみや不法投棄ごみの

削減と、早期発見による不法投棄の未然防止に向け、クリーンパトロールを実施しています。

不法投棄を防止するためには、草刈りをおこない見通しの良い状況にする、定期的に見回りをおこなうなど、日ごろからの不法投棄をさせない環境づくりが不可欠です。皆さんのご協力をよろしくお願いします。



▲ごみゼロ清掃活動のようす(佐目区)



▲ごみゼロ清掃活動のようす(佐目区)



▲回収されたごみの一部

## 6月12日 東洋ライス株式会社から社会福祉法人杉の子会へ「金芽米」を提供

多賀町と包括連携協定を締結している東洋ライス株式会社のご協力のもと、社会福祉法人「杉の子会」に対し、栄養価の高い「金芽米」の提供を開始することとなりました。本取り組みは、町と東洋ライス株式会社が結んだ包括連携協定に基づく活動の一環です。健康増進や食育の推進を目的とし、杉の子会の作業所などで過ごされる皆さんの毎



▲贈呈式のようす

日の昼食に、健康志向の金芽米を活用していただく運びとなりました。

今回の支援では、杉の子作業所の利用者の皆さんを対象に、1年間(年間約1,440kg)を通じて

金芽米を提供いただきます。また、おいしく健康的な食事づくりをサポートするため、東洋ライス株式会社から多賀町へ炊飯器(2升釜2台、1升釜2台)のご寄贈もいただき、杉の子会で利用いただきます。

6月12日に杉の子第2作業所にて贈呈式が行われました。今回の提供を通じ、利用者の皆さんがより健康で充



▲杉の子会へ金芽米を提供いただきました

実した毎日を送れるよう、多賀町としても引き続き東洋ライス株式会社と連携し、地域福祉の向上に努めてまいります。

久徳うぐいすこども園 南3-3513 電0749-48-0274

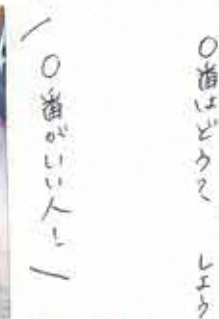
## ENJOY!久徳うぐいすこども園です！

毎日の園生活の中で子どもたちが考えたことや感じたこと、そして成長した姿を写真付きのドキュメンテーションに表しています。クラスごとに作成したドキュメンテーションを掲示して、保護者の方と情報を共有しています。

「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を踏まえて、経験したことがどんな学びに繋がっているかを掘り下げます。今回は、4月から楽しんできたリレー遊びの中で、さまざまな学びや意欲の高まりを経験した5歳児の様子をご紹介します。

みんなで考えるリレーあそび 2026年5月

園では、室内外でリレーあそびを楽しんでいます。  
室内では、「どうしたらチームがわかりやすいかな?」と子どもたちと相談し、その日の服装から「黒い服チームとカラフルチームにしよう!」というアイデアが生まれました。



#話し合いながら順番を決める #自分の思いを伝える #相手の思いに敬む♡



子どもたちで考えた順番でリレーをします。  
#順番を無視する #相手の興味・関心  
#お友だちとやりとりしながらあそびを進める姿が目にさす  
負けにチームからは「悔しい!」「〇〇ちゃんが悪い!」という声があり、どうしたら速く走れるのか子どもたちと考えました。

①腕をたくさん振る ②「よーい」のときに走る形をつくる  
③足を大きく出して走る

①②③を園庭で試し、走る順番が真剣だったよう  
なりました!



#勢よく走る  
#最後まで走りきる  
#友だちと力を合わせて  
バトンをつなぐ  
#健康なバトン

話し合いでもめたり、チームで  
負けが一つにふたり、  
負けを悔しがる姿などを  
重ねながら、集団あそびを  
なげていきます。

チーム分けや順番決めなど、自分たちで思いを出し合いルールを考えながら決めていくことで、友だちと協力して一つのことをやり遂げる「協同性」や、決めたルールを守ろうとする「規範意識」の育ちを感じました。また、どうしたら速く走れるかを考えることで「思考力」が芽生え、自分が考えたことを伝え、また友だちの話をしっかり聞くという「言葉で伝え合う」姿が見られました。

5月30日の親子お楽しみ会では、みんなで考えた順番で全員が思いっきり走る姿を、おうちの方に見てもらえ、達成感に満ち溢れた子どもたちでした。